

# 追跡 あの質問のゆくえ

これまでに行われた質問や提言がどう取り  
組まれたか、2項目を選びレポートする。



▲大きく育ったね

## 空き家解消に向けた条例の制定を 平成26年3月会議 酒井 義光議員

放置されている危険な空き家の解消が進んでいない。平成25年11月に開催された議会報告会の中で、区長からも同様の問題が提起された。  
空き家管理条例の制定、解体することで数倍となる固定資産税の減免、解体費用の一部助成制度などの実施を求める。  
町として具体的な空き家対策に取り組み。

### 答 弁

## 環境美化条例に基づいた対策を強化する

空き家管理条例の制定、解体費用の補助については私有財産の観点から多くの課題があり、現時点では難しい。空き家取り壊し後の固定資産税の減免は、税の公平性の観点から困難である。  
当面は、町環境美化条例に基づいた空き家対策を強化していきたい。  
今後も町独自の取り組みができないか、調査、研究していく。

### その後

## 空家等の適正管理に関する条例を制定

平成28年に町内の危険空き家の実態調査を行った結果、危険性が高く指導が必要な空家家が29戸あることが分かった。  
そこで、危険空家等の利活用も含めた総合的対応を促進することを目的に町危険空家等対策計画を作成し、30年4月からは空家等の適切な管理を図るため、町、所有者、町民の責務や必要な行政指導などを定めた町空家等の適正管理に関する条例を施行した。  
解体費用に関する補助制度は、先進自治体を参考に制定を目指していきたい。



App StoreまたはGoogle Playからダウンロードしてください。

## 多胎児への支援に取り組み 平成29年6月会議 荒井 克議員

平成29年2月に、町内で四つ子の赤ちゃんが誕生し、明るいニュースに町民が元気をもらった。  
四つ子の誕生は全国的にも例が少なく、データもほとんどない中で、妊娠から出産に至ったと聞く。  
今後、町の子育て支援の一環として、多胎児に対し、独自の取り組みを示せ。

### 答 弁

## ニーズを把握し検討する

町は、多胎児の妊娠から出産後まで定期的に家庭訪問をするなど、総合的な相談支援を行いながら、母子の健康状態を注意深く見守っている。  
今後は、産後ヘルパー事業による母親の家事援助、子どもの一時預かりなどを行う子育てサポートセンターの利用支援、ベビーカーなどの購入費助成ができないか、ニーズを把握した上で検討する。

### その後

## 多胎児家庭に子育てサポートセンター 無料利用券を交付

平成30年4月から、3歳までの多胎児を養育している家庭の育児を応援するため、子育てサポートセンターの無料利用券を交付している。会員登録することで、保護者などが病気や急用、リフレッシュしたいときなどに子どもの送迎や一時的な託児を依頼することができ、地域社会全体で子育てをサポートする。

## 自治功労表彰

4月24日に石川県町村議会議長会が開催され、自治功労表彰などを受けた。

県町村議会議長会表彰  
(11年以上)

全国町村議会議長会表彰  
(特別表彰)

石川県知事表彰  
(5期以上)

町村議会広報コンクール  
奨励賞(企画・構成部門)



角井外喜雄 議員 酒井 義光 議員 塩谷 道子 議員 森山 時夫 副議長



谷口 正一 議員



多賀 吉一 議長



つばた議会だより No.140

# 議会を傍聴しましょう

9月会議は、9月4日(火)からの予定です。

- 傍聴受付日時 9月4日(火) 午前8時30分～
- 定員 35人
- 受付場所 町役場3階 議場入口前



- ◎初日は、議案の提案理由の説明と町政一般質問が行われる予定です。
- ◎各常任委員会審議も傍聴することができます。
- ◎日程は変更になる可能性がありますので、詳しくは町議会ホームページをごらんになるか、下記までお問い合わせください。

本会議は、ケーブルテレビ(生中継・録画)やインターネット(録画)でもごらんいただけます。

お問い合わせは、議会事務局 (TEL288-6410)

今回試行として町民の方に議会だよりについてのアンケートをお願いしましたところ、快く応じていただきありがとうございます。ご指摘いただいたことを真摯に受け止め、編集に生かしてまいりますので、よろしくお願いたします。

議会の会議録は  
町議会ホームページで  
見ることができます。



津幡町議会HP